



2023年5月11日

各位

会社名 ワイエイシイホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 百瀬 武文
(コード番号 6298 東証プライム)
問合せ先 取締役管理統括本部長 島山 督
(TEL. 042-546-1161)

株主提案（増配）に関する当社取締役会の意見

当社は、2023年4月13日付「株主提案権行使に係る書面の受領に関するお知らせ」で公表しました通り、当社株主より2023年6月開催予定の第51回定時株主総会における議案について株主提案権（以下「本株主提案」といいます）の行使に係る2023年4月11日付の書面（以下「本株主提案書」といいます）を受領しておりましたが、本日開催の当社取締役会において、本株主提案について反対することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本株主提案について

(1) 提案株主

個人株主1名

保有議決権個数 412 個（総議決権個数の 0.45%）

(2) 提案内容（本株主提案書面の原文どおりに掲載します）

会社法第303条に基づき、下記のとおり提案する。

1 提案の内容

50年間の多数の社員の皆様と50年間も頑張ってくれたYACに心より感謝しつつ、下記の理由に基づき、1株につき年間の配当金を普通配当金50円と50周年記念特別配当金50円の合計100円とする。従って、1株当たりの中間配当金が25円であったので、期末配当金を1株につき75円とする。

2 提案の理由

(1) 昨年の株主提案に約15%（議決権）の皆様が賛成して頂き、厚く感謝申し上げます。ただ、この内、約8%の皆様が配当金に関する会社提案と株主提案の両方に賛成されたことにより、せっかくの投票が“無効”になってしまいました。会社提案に反対しても配当金は受領できますので、安心して「会社提案に反対し、株主提案に賛成」して頂けないでしょうか。

(2) YACを「持続可能な高配当企業」にして『100年企業』にしませんか。株式市場において「持続可能な高配当企業」と認知されれば、株価上昇による時価総額の増大が実現し、時価総額が増大すれば、YACに対する敵対的TOB（株式公開買付け）対策となり且つ他社に対するM&A（買収）を自己株式で又は現金と自己株式で実行する場合、YAC保有の自己株式の価値が増大しているので、M&Aの費用（コスト）を低下させられます。これは、株主のみならずYACにとっても有益です。さらに、株価上昇は、株式分割の機会も増大させます。

3 配当財産の種類、剰余金の配当が効力を生じる日、配当金支払開始日、に関しては、会社提案と同様とする。 お手数をおかけ致しますが、宜しく願い申し上げます。

2. 本株主提案に対する当社取締役会の意見

(1) 本株主提案の概要

本株主提案は、当社普通株式1株につき100円（普通配当50円、記念配当50円）を配当するものであります。（うち期末配当75円）

(2) 当社取締役会の意見

当社取締役会としては、本株主提案に反対いたします。

(3) 反対の理由

①当社は従来、業績変動の如何にかかわらず、安定的な配当継続を基本方針としておりましたが、東京証券取引所の市場区分再編に伴うプライム市場への移行を契機に、2021年度からは一層の株主還元を目指し、配当性向30%を目安とした安定的な配当政策にすることを新たな株主還元方針として、2021年12月24日に開示した「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」において公表いたしました。

②上記①に従い、2022年6月29日に開催した第50回定時株主総会においては、年間配当「1株あたり36円（うち期末配当24円）」を議案（会社提案）として上程し、大多数の株主の皆様にご賛同いただきました。なお、提案株主は約15%の賛成を得たと説明されておりますが、これは賛否が無効となった議決権行使の全てが当然に会社提案と株主提案の両方に賛成したものと前提に立ったものであります。当社といたしましては、前期である第50回定時株主総会における株主提案に対する賛成割合はあくまでも出席株主の議決権の7.15%であり、無効票の全てが株主提案に賛成していたかのような前提に立つ提案株主の説明は、誤解を生むものであり賛同しかねます。

③本日発表の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」および2023年3月期業績予想と実績との差異に関するお知らせ」に記載のとおり、当社の2023年3月期決算における親会社株主に帰属する当期純利益は921百万円、1株当たり当期純利益は100円57銭と、予想を大きく下回る結果となりましたが、創立50周年という節目の年に、株主の皆様方のご支援にお応えすべく、2023年2月10日付「配当予想の修正（記念配当）」に関するお知らせにて公表のとおり、記念配当25円を含めて年間配当75円（うち期末配当50円）とさせていただきます。なお、年間配当75円となる場合、配当性向は74.6%となり、記念配当を除く普通配当のみの場合でも配当性向は49.7%となり、十分な株主還元ができているものと考えております。

④そして、今次2023年3月期の自己資本比率は41.1%（連結）であり、財務体質の強化を引続き重点施策と捉えると共に、将来の持続的成長に向けた継続的な設備投資や研究開発投資に加えM&Aが欠かせないと考えており、そのためには必要な内部留保を確保するとともに機動的な活用に備えることが重要となり、また、不測の事態に備えるためにも、配当と内部留保の適正なバランスを図る必要があります。従いまして、本株主提案に基づく2023年3月期における記念配当の増配に伴う追加支出は抑制すべきと考えております。当社は、今後も中期経営計画の着実な実行により経営基盤の強化、財務体質の改善に取り組み、さらなる企業価値の向上を図り、株主の皆様のご期待に応えてまいりたい所存です。

以上より、今回の本株主提案は、当社の株主還元方針および今後の資金の活用方針と合致しておらず、当社のさらなる中長期的な企業価値向上に寄与するとは考えにくいと判断するものであります。

以 上